こころを支えるために大切なこと

仙台いのちの電話公開講演会

生まれた時から人は呼吸し、そして対話している

講演＆ワークショップ

1984年8月27日フィンランド西ラップランドケロプダス病院にて、
精神面の困難に直面した人たちと対話をしていく試みが生まれました。
後に「オープンダイアローグ」と名付けられたその試みは、
診断名を一旦脇において、本人と本人の困りごとに関わる人たちの話を
まずはきいていく、きくときは解釈や判断などはせずに、
本人たちがどういう状況にあるのかを理解しようとしながら話をきくことを大切にしました。
調査によると対話的なセラピーを受けた人たちのうち80%以上の人たちが回復したとされています。
本会では、オープンダイアローグで大切にされる「話しをきく」とはどういうことなのかについて
体験を交えながら実感していただく時間を作っていきたいと思っています。

講　師：森川 すいめい氏（精神科医 みどりの杜クリニック院長）

精神科医。鍼灸師。みどりの杜クリニック院長
2003年にホームレス状態にあるひとを支援する団体「TENOHASI（てのはし）を立ち上げ、現在は理事として東京・池袋で炊出しや医療相談なども行っている。
2009年、認定NPO法人「世界の医療団」ハウジングファースト東京プロジェクト代表医師、2013年同法人理事に就任。
一般社団つくろい東京ファンド理事。NPO法人認知症サポートセンター・ねりま副理事。
オープンダイアローグ（OD）国際トレーナ養成コース2期生。ODNJP運営委員。著書に、障がいをもつホームレス者の現実について書いた『漂流老人ホームレス社会』（朝日文庫、2015）、自殺希少地域での旅のできごとを記録した『その島のひとたちは、ひとの話をきかない』（青土社、2016）等がある。

2019年10月14日（月・祝）

13時30分～16時30分　開場13時

入場無料　事前予約制　先着100名

会場／仙台市シルバーセンター 第2研修室（6階）
仙台市青葉区花京院1丁目3-2　TEL.022-215-3191
※公共交通機関をご利用ください。

お問合せ・お申込み先　社会福祉法人 仙台いのちの電話 事務局　TEL.022-718-4401　FAX.022-718-4431
仙台いのちの電話ホームページからもお申込みいただけます

後援／仙台市